



秋田県立大曲支援学校 せんぼく校 教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

1 学校の現状

本校は、3年間の大曲養護学校せんぼく分教室時代を経て、平成28年4月に大曲支援学校せんぼく校として仙北市角館町に開校した。角館高等学校定時制課程の校舎に隣接し、体育館やグラウンドを共用している。

(1) 児童生徒状況

平成30年度は、小学部8名（訪問教育1名含む）、中学部9名、高等部21名（訪問教育1名含む）、計38名の児童生徒が在籍している。

(2) 立地状況

仙北市角館町に立地し、全国的にも有名な武家屋敷通りや桜並木の桧木内川堤に近い。仙北市は観光資源も多く、学習活動にその資源を生かすことが期待できる。

(3) 特色ある教育活動

高等部に、学校設定教科「観光」を設定し、学校全体としても観光地である仙北市の地域資源を学習の場として積極的に活用し、将来の社会参加や職業自立に結び付くような地域の中での学習活動を展開している。また、樺細工や和紙づくりなど、地場産業と関連をもたせた作業学習を実践している。

2 将来状況の予測と課題

(1) 児童生徒数の推移

仙北市在住の全児童生徒のうち、小・中学校特別支援学級に在籍している各学年の児童生徒数や、せんぼく校の小学部から高等部の各学部での在籍状況から、当面35名前後の在籍者数で推移するものと予測している。

(2) 重点課題

地域の観光資源を生かした学習の推進、隣接する高等学校と連携した学校づくりが求められている。また、仙北地域の早期教育相談支援や就学指導について、関係機関等と連携しながら、推進していくことが必要である。

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

1 学校像～「瞳かがやき、笑顔あふれる学校」

特色ある教育活動(地域が教室～伝統の継承と発展)

- (1) 地域に根ざした学習活動、地域の人々との日常的な交流活動
- (2) 地域における本物の体験を通じたキャリア教育の充実
- (3) 児童生徒の主体性を育む学校環境整備

2 児童生徒像

一人一人の障害の状態や発達段階、特性等に応じた知識、技能及び態度を身に付け、積極的に社会参加、職業自立できる児童生徒を目指す。

- (1) じょうぶな子 健康で、安全な生活ができる児童生徒
- (2) すなおな子 明るく、仲良く、礼儀正しい児童生徒
- (3) がんばる子 進んで取り組み、最後までやりぬく児童生徒

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

1 地域に根ざした活動を通じたキャリア教育の充実

- (1) 自立と社会参加に向けた学習活動・生活指導の基盤
 - ①卒業後の望ましい姿を見据えた、小学部からの一貫したキャリア教育
 - a. 体力づくりの習慣化と基本的な生活習慣の定着
 - b. 自らの意思を適切に表現し、他者に伝える力の育成
 - ②自己有用感を持ち、自他を認め合う意識を高める道徳教育
 - ③自らの身を守る力を高める安全教育
- (2) 地域交流と共同活動
 - ①地域の特性を生かし、観光をはじめとする地域資源を活用した教育課程の編成
 - ②商店街や地域団体、観光協会等と連携した地域活動の充実
 - ③地域の保育所等、小・中学校及び高等学校との、交流及び共同学習の活動内容の発展
- (3) 実践的職業教育の実施
 - ①中学部、高等部における地域資源を活用した実践的作業学習
 - ②実習先や職域の開拓と地域の理解促進
 - ③卒業生の定着指導及び生涯教育の場の設定

2 特色ある学校づくりのための基盤整備

- (1) 地域と連携した活動を推進するための組織的取組
- (2) 児童生徒の学習活動としての校内環境整備
- (3) 地域の小・中・高等学校と連携した学校公開・体験活動等の実施

3 センターの機能の充実

- (1) 仙北市関係機関等と連携した早期教育相談、就学前支援の拡充
- (2) 小・中学校との共同研修及び、角館高等学校定時制課程との相談支援の連携
- (3) 特別支援教育に係る地域の中核としての研修機能の整備

推進指標（平成34年度末までに）

- 地域連携組織による本校の教育課程評価で「概ね良い」以上の評価 …… 90%
- 一般就労者の三年職場定着率 …… 90%
- 地域の特別支援学級（知・情）在籍児童生徒の、本校体験学習参加率 …… 90%